



福山赤坂ロータリークラブ週報

第 485 回例会
2007 年 2 月 3 日(日)

2006～2007 年度 国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド

●会 長 門田一治 ●副会長 前田真治
●幹 事 佐藤俊之 ●会 計 神原一省
●SAA 角田浩樹 ●副幹事 今井尚正
創立 1996.10.8 承認 1996.10.23

例会場 福山市赤坂町赤坂 1276
事務所 福山市赤坂町赤坂 1276
T E L (084)920-4141
F A X (084)920-4140
ホームページ <http://www.fa-rc.jp>
E-mail fa-rc@aurora.ocn.ne.jp
例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

G・11 INTERCITY MEETING 特集

◆IM 開催趣旨 第 2710 地区 G・11 ガバナー補佐 土生公平様

ロータリーの先人の言葉に、そのクラブの評価は「そのクラブがどんな人間をつくったか」というのがあります。

RI はロータリーの衰退、すなわち会員が次々にやめていく一番大きな原因は、リーダーシップと持った会員が不足して、クラブがマンネリ化していくことではないか、と考え、そのために、1992 年ロータリー・リーダーシップ研究会が設立されています。

そうした中から CLP が生まれました。CLP の発想の基本にあるのは、会員のリーダーシップ研究であると云われています。CLP はクラブ活性化のひとつの方法であって、必ずしもこうしなければならないというものではありません。

輪が 2710 地区に於いては、地区大会で岩森ガバナーが地区内の会長、幹事に「CLP に取り組みましょう」と呼びかけられました。

そういわれても、CLP とは何か、良くわからない。分からないことは分かる人に聞くのが一番であります。そこで、地区代表幹事の土井洋二さんにご相談して、本日の講師、松本裕夫さんをお迎えすることが出来ました。のちほど、CLP にどのように取り組まれているか教えていただきます。

ご講演の後で、「クラブの活性化」について、各テーブルでテーブル会議をしたいと思います。IM が「ただ話を聞いて帰るだけ」の一方的なものでは、折角、参加してくださった人も面白くないと思ひまして、今日のようなテーブルの設定を準備させていただきました。質問の時間も用意しております。参加された皆さんが、より多くの発言をしていただけますように願っております。

◆出席報告 ○会員数 37 名 ○出席率 88.24%

欠席者 4 名 平田さん 麦谷さん 西川さん 佐藤(直)さん

前々回 1 月 23 日 ○補正出席率 82.35%

メイキャップ 眞田さん

◆スマイル BOX

会員誕生記念祝	西川和吉さん	42 年 2 月 2 日
	西 浩二さん	34 年 2 月 10 日
会員奥様誕生記念祝	眞田里美さん	2 月 7 日
	中尾春香さん	2 月 8 日
	杉原里美さん	2 月 27 日



- ◆次回例会 2月20日（火）会員卓話 武郷義昭さん
 2月27日（火）ゲスト卓話 赤坂小学校 校長 佐藤泰伸様